

TIC NEWS

135
vol. 2020.4

(公財) とやま国際センター

〒930-0856 富山市牛島新町5-5

インテックビル4F (タワー111)

TEL (076) 444-2500

FAX (076) 444-2600

E-mail : tic@tic-toyama.or.jp

URL : http://www.tic-toyama.or.jp

令和元年度日本海学シンポジウム

パネルディスカッション

富山湾から探る未来の海 -持続可能性への展望-

コーディネーター：秋道 智彌

(山梨県立富士山世界遺産センター 所長、日本海学推進機構 会長)

パネリスト：桜井 泰憲

(（一財）国際水産・海洋都市推進機構 国際課足利科学研究所 所長、
北海道大学 名誉教授)

小境 卓治

(永見市立博物館 学芸員（前同館 館長）)

前川 美湖

(（公財）佐川平和財団 海洋政策研究所海洋政策研究部 主任研究員)



日本海学シンポジウム

令和2年2月15日、北日本新聞ホールにて「富山湾から探る未来の海－持続可能性への展望－」と題し、シンポジウムを開催しました。

国際交流ひろば 一富山県国際交流員による各國お料理教室一

日時：令和元年12月14日(土) 10:00～13:00 「フランス料理」
14:00～17:00 「韓国料理」

令和元年12月21日(土) 10:00～13:00 「ラトビア料理」
14:00～17:00 「ベトナム料理」

場所：富山県民共生センター「サンフォルテ」調理実習室

当センターでは今年度も、富山県国際交流員が各々の出身国の文化を楽しく紹介する「国際交流ひろば」を開催しました。今回は「いろんな国の料理」をテーマとして、国際交流員が出身国の各国料理を紹介して参加者みんなで料理を作る教室としたところ、いずれの回も定員いっぱい参加者は全員で80人となり、大盛況でした。

第1回「フランス料理」では、胡桃とりんごのサラダ、きのこオムレツ、ジャガイモのソテーを作りました。家庭でも簡単に作れる料理でしたが、ジャガイモの切り方や“卵をフォークで混ぜる”などのコツを教わり、参考になったので家でも作りたいという声も多く聞かれ、皆さん大満足でした。

第2回「韓国料理」では、チーズタッカルビ、宮廷トッポッキ、ゆず茶を作りました。本格的な韓国料理でしたが、終始、段取りよく進められ、味も美味しいと大変好評でした。調理後の時間には、参加者から韓国文化に対する様々な質問があり、巧みなパワーポイントのプレゼンテーションで受け答えする国際交流員でした。

第3回「ラトビア料理」では、ジャガイモのパンケーキ、カニカマのサラダを作りました。あまり日本人には馴染みがないラトビアについて知ることができてよかったです。また、大量のジャガイモをすりおろす作業に皆さん苦戦していましたが、もちもちした食感と塩味のヨーグルトソースが新鮮だったようです。

第4回「ベトナム料理」では、ネム・クオン（生春巻き）、チー（デザート）を作りました。各テーブルに留学生が1人ずつサポートについてくれたおかげで、難しい生春巻き作りもうまくいき、また、料理を食べながらの交流を皆さん楽しんでいました。

国際交流人材バンク通訳者セミナー “通訳ガイドというおしごと”

日時：令和2年1月11日(土) 13:00～15:00

場所：(公財)とやま国際センター — 研修室A

講師：全国通訳案内士 島崎 秀定 氏



国際交流人材バンク登録者を対象に毎年開催している通訳者セミナーについては、今年度2回目のセミナーとして“通訳ガイド”をテーマに実施しました。

現役の全国通訳案内士としてご活躍されている講師の島崎秀定氏は、昨年の年間稼働日数が237日という大変ご多忙のなか、来県のうえ、ご講演いただきました。

まずは、昨今の外国人観光客の多様化する旅行スタイルにあわせ、通訳ガイドの仕事内容も多様化してきている業界の傾向について話がありました。

ガイド中に意識すべきポイントとして、「少数意見に振り回されず、常に団体を意識すること」また、「観光客の出身国の国民性、文化を知り、今まで訪れてきた観光地はどこなのかという細かな部分にも考慮して、ストーリーのあるガイディングを心がける」といったアドバイスがありました。

大岩山の日石寺をガイドされたときは自らも滝行を行われたという島崎氏。「自らが進んで体験することで、お客様に、より楽しんでもらいたい。」このようにサービス精神溢れる島崎さんならではのエピソードもたくさんご披露いただきました。

2018年からの有料通訳ガイドの自由化に伴い、通訳ガイドのあり方も変わってきています。受講者からは、「通訳ガイドに限らず、成功する人の仕事に対する姿勢・心構えを学べた」、「“笑顔”を忘れない、気配り、準備力、寛容さはどんな仕事にも大切」などの感想が多く聞かれました。



“日本海学シンポジウム”

「富山湾から探る未来の海—持続可能性への展望—」

日時：令和2年2月15日（土）13:30～16:30

場所：北日本新聞ホール



基調講演：「気候変化に適応した持続的沿岸漁業」

講師 桜井 泰憲 氏

((一財)函館国際水産・海洋都市推進機構

函館頭足類科学研究所所長 / 北海道大学名誉教授)

パネルディスカッション：

「富山湾から探る未来の海—持続可能性への展望—」

コーディネーター 秋道 智彌 氏(山梨県立富士山世界遺産センター所長、日本海学推進機構会長)

パネリスト 桜井 泰憲 氏 ((一財)函館国際水産・海洋都市推進機構

函館頭足類科学研究所所長 / 北海道大学名誉教授)

小境 卓治 氏(氷見市立博物館学芸員(前同館 館長))

前川 美湖 氏 ((公財)笹川平和財団海洋政策研究所海洋政策研究部主任研究員)

今回で21回目を迎える日本海学シンポジウムでは、約120名の参加者が集まり、函館頭足類科学研究所所長の桜井泰憲氏による基調講演、日本海学推進機構会長の秋道智彌氏のコーディネートによるパネルディスカッションを行いました。このシンポジウムでは、海洋環境の変化に対応した漁業の在り方や富山湾の環境保全や持続可能性への展望について意見が交わされ、理解を深めました。

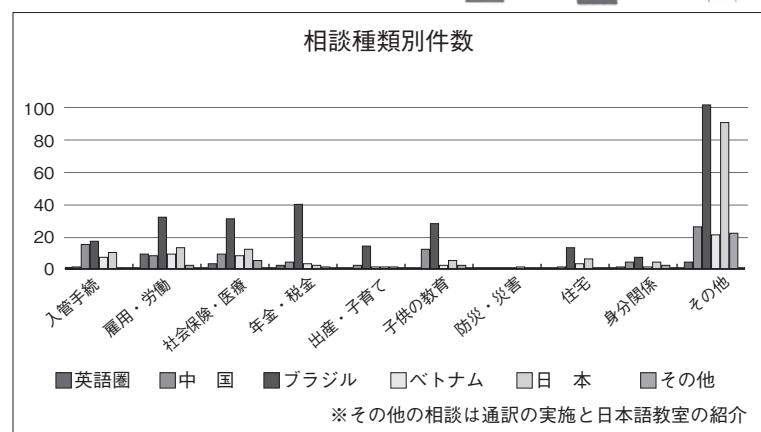
富山県外国人ワンストップ相談センター



令和元年6月18日の開所以来、2月末現在で約620件の相談が寄せられました。

富山県内にお住まいの多くの方々から、在留資格・雇用問題・子供の教育・医療・税金など様々な相談がありました。

相談だけではなく、電話での通訳なども対応いたしますので、言葉が通じないために諦めかけていたことにも解決策が見つかるかもしれません。相談者の個人情報は厳守します。日本人でも外国人でもどなたでも相談できます。相談料は無料です。



(公財) とやま国際センター内 (富山市牛島新町5-5インテックビル4階)

☎ 076-441-6330

☎ 076-441-5654 (三者通話による電話通訳) ※通常の電話料金がかかります。

受付時間：月～金曜日（祝日を除く）9:00～16:00

対応言語：日本語・英語・中国語・ポルトガル語・韓国語・ロシア語・ Telugu語・ベトナム語
(上記以外の言語は、タブレット等を使って対応します)

日本海学を学ぶ講座

日本海学研究グループ支援事業研究成果発表会

日時：6月27日(土) 9:30～12:30

場所：県民会館702号室

日本海学に関する研究・普及活動に対し令和元年度に助成を受けた6グループによる合同の成果発表会です。

日本海シンポジウム 海がつなぐ食文化 一豊かな海がもたらすものー

日時：2月13日(土) 13:30～16:30

場所：北日本新聞ホール

講師：上里 隆史 氏（浦添市立図書館 館長）

日本海学講座

第1回 「歴史のなかの立山文化」

日時：7月11日(土) 14:00～15:30

場所：県民会館401号室

講師：城岡 朋洋 氏（富山県立山博物館 館長）

第2回 「富山の近代化と鉄道 ー地域鉄道の成立と変容をめぐってー」

日時：8月29日(土) 14:00～15:30

場所：県民会館401号室

講師：草 卓人 氏（地域交通史研究家）

第3回 「北東アジアとロシアの経済関係」

日時：11月28日(土) 14:00～15:30

場所：県民会館611号室

講師：志田 仁完 氏（(公財)環日本海経済研究所 研究主任）

第4回 「みんな見てきた魚津の蜃気楼 ー加賀藩主からドローンへ!ー」

日時：1月9日(土) 14:00～15:30

場所：高岡市生涯学習センター 研修室503(ウィング・ウィング高岡内)

講師：佐藤 真樹 氏（魚津埋没林博物館 学芸員）

富山湾の魅力体験親子教室

*小学生3年生以上・中学生親子対象

日時：8月1日(土)、2日(日)

場所：富山海上

（富山高等専門学校実習船“若潮丸”に乗船）



【お申込み・お問合せ】

〒930-8501（住所記載は不要です）

日本海学推進機構（富山県観光振興室内）

TEL 076-444-3339

FAX 076-444-8694

E-mail adm@nihonkaigaku.org

URL <http://www.nihonkaigaku.org/>

多文化共生講座

③多文化共生フォーラムの開催

県民や、在住外国人が多文化共生(ムツガクシヨウ)スカッションを実施します。(予定)

日本語支援ボランティア養成講座

【小矢部会場】

日時：4/25, 5/16, 5/30, 6/13,
土曜日 10:00～12:00 全

場所：津沢コミュニティプラザ 会議

【上市会場】

日時：4/18, 5/9, 5/23, 6/6, 6/
土曜日 10:00～12:00 全

場所：つるぎふれあい館2階 世代間

受講料：3,000円

日本語教室アドバイザーの派遣

地域日本語教室へ日本語教育専門

日本語ボランティアスキルアップ

日本語支援ボランティアのスキルアッ

日本語ボランティアの研修会等

日本語支援ボランティアが、研修会等

令和2年度の(公財)をご紹介します!!

今年度も、国際理解、国際交流
様々な事業を展開していきたい

詳しい事業内容については(公
をご覧ください。皆さんの参加

外国語・外国文化を学ぶ講座

国際理解出前講座

地域の国際交流協会や、小中高校、
国際理解・国際協力等に関する出前講座

ナマステ・インディア

日時：第2、第4月曜日 18:30～21:00
場所：(公財)とやま国際センター 談

富山県国際交流員と、インドの文化
講座です。

とやま国際塾

日時：7月18日(土)～19日(日)
場所：吳羽青少年自然の家

高校生を対象に、国際交流員、海外
を通じて国際協力、多文化共生について

国際交流ひろば

各国からの国際交流員を講師に異文

に理解を深めるよう、講演、パネルディ

講座

6/27, 7/11, 8/1, 8/29

全8回
室

20, 7/4, 7/18, 8/22

全8回
間交流センター

アドバイザーを派遣します。

研修会

アップを目的に研修会を開催します。

参加費用の支援

会に参加する費用の一部を助成します。

外国語の絵本よみきかせ親子の会

日時：第2土曜日 10:00～11:00 全12回 (*5月, 1月は第3土曜)

場所：環日本海交流会館

　　外国語の絵本の読み聞かせを通して、外国人親子が母国の文化に親しんだり、日本人親子が異文化を楽しむ講座です。

災害時外国人支援ボランティアの養成

災害時に外国人を支援するボランティアを養成するため、多言語や、やさしい日本語による情報提供の研修を行います。

市町村担当者向け災害時外国人基礎研修

災害時多言語支援センターや避難所の設置・運営に係る基礎研修とやさしい日本語研修を行います。

防災訓練への参加

大規模災害を想定して石川県、福井県と連携した災害ボランティア研修を行うとともに、富山県総合防災訓練にも参加します。

外国人のための防災講習会

災害時に、県内在住外国人が迅速かつ適切に対応し行動できるよう、外国人を対象とした同時通訳による防災に関する講義とワークショップを行います。

アセアン講座

著しい経済成長を遂げるアセアン地域の国々の文化・生活習慣等を紹介する講座を開催します。

とやま国際センターの事業

、国際協力及び多文化共生の促進のため、
と考えています。

(公財)とやま国際センターのホームページ
をお待ちしております。

“BOUSAI RADIO” 外国人のための災害情報提供

防災意識の啓発を目的として多言語ラジオ番組 “BOUSAI RADIO”
を放送しています。

FMとやま 周波数 82.7MHz

毎月第1土曜日 21:55-22:00 やさしい日本語、中国語

第3土曜日 21:55-22:00 英語、ポルトガル語

講座

語学講座

| 講座名 | 開催期間 | 曜日 | 対象 | 定員 |
|--------------------|----------|----|--------------|-----|
| 英語（初級） | 6/3～3/10 | 水 | 簡単な日常会話のできる人 | 40名 |
| 中国語（入門） | 6/5～3/12 | 金 | 初心者 | 30名 |
| 中国語（初級） | 6/4～3/11 | 木 | 1年程度学習された方 | 30名 |
| 中国語（中級） | 6/2～3/9 | 火 | 2年程度学習された方 | 30名 |
| 韓国語（入門） | 6/4～3/11 | 木 | 初心者 | 40名 |
| 韓国語（初級） | 6/1～3/8 | 月 | 1年程度学習された方 | 40名 |
| ロシア語（入門） | 6/2～3/9 | 火 | 初心者 | 15名 |
| ポルトガル語（初級） | 6/3～3/10 | 水 | 初心者等 | 15名 |
| 新 ベトナム語（入門） | 6/1～3/8 | 月 | 初心者 | 15名 |

日 時：上記の期間の18:30～20:00 年間30回

場 所：(公財)とやま国際センター研修室

受講料：10,000円（テキスト代別）

技術研修員、留学生等との交流を
考えるセミナーです。

文化理解等に関する講座を行います。

「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2019」受賞者を表彰

富山国際大学付属高校 藤井千聖さんが国際協力特別賞（全国20位内）を受賞！

「よりよい世界の未来を目指して～私たちから始まる一歩～」をテーマにエッセイを執筆

本コンテストは、次の世代を担う中学生・高校生を対象に、開発途上国の現状や、開発途上国と日本の関係について理解を深め、国際社会の中で日本、そして自分たち一人ひとりがどのように行動すべきかを考えることを目的として実施しています。今年度で中学生の部は24回、高校生の部は58回を数え、中学生の部27,320点、高校生の部28,141点、総数55,461点（うち県内から中学:316点、高校:786点 総計:1,102点）ものご応募をいただきました。

◆本コンテストは、来年度も開催を予定しております。テーマは、「世界とつながる自分～私たちが考えること、できること～」です。皆さんのご応募をお待ちしております。

◆エッセイコンテストの募集詳細、過去の受賞作品は「JICA地球ひろば」ウェブサイトでもご覧になれます。

<https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/collect/index.html>

富山県では6名が個人賞、5校が学校賞を受賞

| | |
|-----------|---|
| 国際協力特別賞 | 富山国際大学付属高等学校 藤井千聖さん |
| 北陸センター所長賞 | 黒部市立鷹斯中学校 中野舞さん |
| 佳 作 | 大門高等学校 山崎彩華さん |
| | 高岡市立戸出中学校 山崎友莉さん |
| 特別学校賞 | 富山国際大学付属高等学校 横山百愛さん |
| 学 校 賞 | 富山県立伏木高等学校 富山県立大門高等学校 射水市立小杉中学校 富山国際大学付属高等学校 高岡第一高等学校 |

国際協力特別賞 「ボランティアの心」

アメリカへ留学した際に、教会の活動の一環でホームレスの人たちにホットドックを配った経験に基づいて書いた作品。物を提供するだけでなく、「共に歩む」精神をもとにしたボランティアの形の大切さに気付いた。



国際協力特別賞
富山国際大学付属高校
藤井千聖さん

2020年度教師海外研修 参加者募集中！ 百聞は一見に如かず!! 五感を使って学ぶ実体験型プログラム

- ◆訪問国：モザンビーク共和国
- ◆対象：北陸3県の学校教員で、これまでJICAから海外に派遣された経験のない方
- ◆応募締切：2020年5月11日（月）必着（JICA北陸に郵送または持参）
- ◆プログラムの詳細・応募書類のダウンロード・過去の参加者の報告書などは「JICA北陸」のウェブサイトでご覧いただけます。

<https://www.jica.go.jp/hokuriku/enterprise/kaihatsu/kaigaikenshu/index.html>



JICA海外協力隊からの現地リポート

今回はパラオから届いた青年海外協力隊員 前田司さんからのお便りをご紹介します。

パラオに来てはや1年が経ちます。名前くらいはご存知でしょうが「どこ？」って思われる方も多いのではないでしょうか？私も以前そうでした。神戸から真南に向かった先でグアムとフィリピンの間に位置し、面積が屋久島程度しかない小さな島国です。公用語はパラオ語と英語ですが戦前の日本統治時代の影響もあり、「ダイジョーブ」「アツイね」など1,000語程日本語がミックスされ、また、日系人も多く、日本人を親しく思ってくれている人が多いです。

現在は現地の短期大学で「冷凍機器・空調」いわゆるエアコン・冷蔵庫を扱う分野の技術者育成に励んでおり、講義・実習等のサポート・改善に取組んでいます。現状こういった技術者の道を選ぶ学生が非常に少ないため、現地の技術者をもっと増やしていくためには、どのように学生にもっと興味を持って貰えるかが大きな課題と考えています。

また休日も、我々の活動の一環としてホストファミリーとの交流やその他催し物等に参加させて頂き、毎日非常に意義ある生活を送っております。



前田司さん

派遣国：パラオ
職種：冷凍機器・空調
派遣期間：2019年4月～2021年4月
配属先：パラオ・コミュニティ・カレッジ

Voices from the world

～インドネシア ジャカルタ市～

世界の富山ファンからのメッセージ

前田 大輔さん (PT MONOTARO INDONESIA President Director)

Q. 今、どんなお仕事をされていますか？

A. 住友商事(株)IT業界における新規ビジネス開発を担当しており、最近は東南アジアを中心として活動しています。子会社やジョイントベンチャーを作り出向することがメインで現在は「monotaro.id (モノタロウインドネシア)」の社長を務め、インドネシアで初めての法人向インターネット通販事業を立ち上げています。現地で採用、教育を行いマーケティングから購買そして物流網の構築までハンズオンで立ち上げています。まだまだ通販が浸透していないので一筋縄ではいきませんが充実した毎日を過ごしています。



Q. 近況について教えてください。

A. インドネシアの首都であるジャカルタにオフィスを構えて、家族とともにその周辺に住んでいます。ジャカルタと聞くと世界最悪の渋滞をイメージされる方もいると思いますが、日本のサポートで建設された地下鉄が走り始めたり、新たな高速道路が出来たりと大きく変貌を遂げようとしている街です。インドネシアは今なお人口ボーナス期で、毎年数百万人の赤ちゃんが生まれている平均年齢が27.8歳の若い国です。2045年には世界第5位の経済大国になるとと言われています。大変なことや不便なことが多いですが、将来に向けての活気に満ち溢れています。

Q. 富山とはどんな結びつきがありますか？

A. 様々な業種で富山県出身者がインドネシアで活躍されています。また、インドネシア富山県人会もあります。

私は、吳羽小・吳羽中を経て富山中部高校卒業まで富山に住んでいました。大学から東京に出てきて、その後アメリカ、マレーシア、インドネシアと駐在してきました。

今でも日本に帰国する機会があれば、新幹線を使ってなるべく富山に帰省するようにしています。両親、親戚も富山に在住しています。小中高の友達とは今でもよく集まります。温かく迎えてくれる幼馴染や友人にはいつも感謝しています。富山に帰った瞬間、富山弁に戻るので、やはり自分は富山県人だなあと感じます。



Q. 最後に富山の人に一言メッセージをお願いします。

A. 富山を離れるとなおさら富山のすばらしさ、立山の美しさに気づきます。普段食べているお米も水も格段のおいしさです。ぜひ富山の素晴らしさを維持し、世界に広めていってください！

令和2年度草の根国際活動助成事業募集中!!

県内で国際交流・協力活動及び多文化共生活動を実施する民間の非営利団体・グループに対し助成します。

【助成対象事業】

1. 国際交流事業（助成対象経費の2分の1以内で上限は10万円）

- 異文化交流、異文化理解の増進に資する事業（例：国際交流フェスティバル、各種異文化交流・紹介事業）
- スポーツ・芸術・学術などの国際交流促進に関する事業（例：スポーツ大会、写真展、絵画展、演奏会、映画上映会、学術講演会）

申請期限は5月8日
までです！

2. 国際協力事業（助成対象経費の2分の1以内で上限は10万円）

- 国際的に緊急かつ深刻な貧困、災害などへの支援事業（例：災害救援チャリティー・コンサート）
- 開発途上国への援助・協力支援事業（例：子ども達のための絵本プロジェクト）
- 国際協力に関する県民の理解を深めるための事業（例：国際協力に関する講座など）

3. 多文化共生事業（助成対象経費の4分の3以内で上限は20万円）

- 県内在住外国人支援事業（例：日本語教室、外国にルーツを持つ子供の学習支援など）



作ってみよう！ラトビア料理

Maizes Zupa マイゼス ズパ(ライ麦パンスープ)

ラトビアの代表的デザートはライ麦パンスープです。昔からラトビア人にとってパンを捨てるることは罪深いことでした。そこで古くなったパンを活用するこのデザートが広まったという訳です。ラトビア人にとっては伝統的かつ日常的な料理の一つです。親から子へ受け継がれる各家庭のレシピはときには数世紀の歴史があります。簡単に作れるのに、濃縮したような豊かな味がするデザートです。日本ではライ麦パンがあまり売られてないことだけは残念です。もっと多くの人に味わってほしいです。



～作り方～

1. ライ麦パンを薄く切り、160度に熱したオーブンで15~20分焼く。
2. オーブンから取り出したパンをボウルに入れ、パンがかぶる程度のお湯をかけ、パンにお湯を浸透させる。
3. パンに十分お湯が浸透したら、パンをざるでこし、鍋に入れる。細かく刻んだリンゴ、レーズン、すりつぶしたクランベリー、砂糖、シナモンを加えて10分ほど火にかける。この際、こげつかないように気をつけて混ぜ続ける。
4. スープ皿に鍋のスープを入れ冷やす。生クリームを泡立て、冷えたスープに添えて出来上がり。

※生のクランベリーがない場合はドライクランベリーでもOK。干しアンズなどお好みのドライフルーツを入れてお楽しみください。

ラトビア出身
オルグレ ピシュチコフスさん
おすすめ料理！



～材料～ (2人分)

| | | |
|--------|-------|--------|
| ライ麦パン | | 250g |
| リンゴ | | 100g |
| レーズン | | 50g |
| クランベリー | | 25g |
| 生クリーム | | 50g |
| 砂糖 | | 50g |
| シナモン | | 小さじ1/4 |

TICからのお知らせ

TICメールマガジン配信します！

とやま国際センターから、定期的にお届けする“TICメールマガジン”。7カ国語（日本語・英語・中国語・ポルトガル語・ロシア語・韓国語・ベトナム語）で配信するパソコン、スマートフォン向けのメール情報サービスです。

とやま国際センターの主催イベントや講座の最新情報はもちろん、外国人向けの相談窓口のご案内など暮らしに役立つ生活情報、災害についての備え、緊急時の対処法などの防災情報、また、県内のイベント情報など楽しい内容を盛り込んでご案内しています！

興味のある方は、ぜひ“TICメールマガジン”にご登録ください。

メールマガジンの配信をご希望される方は、とやま国際センターのホームページから無料で簡単にご登録いただけます。

URL : <http://www.tic-toyama.or.jp/>

国旗、民族衣装など貸し出します!!

世界各国の国旗、民族衣装、ユニセフ視聴覚教材、国際理解教育のための教材などの貸し出しを行っています。詳しくはホームページをご覧ください！



環日本海交流会館 図書・DVD新着情報!!

【日本語教材】

「日本語能力試験JLPT 第2集 公式問題集 N1～N5」
「新完全マスター日本語能力試験
文法、読解、聴解、語彙 N1～N2」
「CD付TRY！日本語能力試験N5ベトナム語版」

【DVD】

「アナと雪の女王」
「怪盗グルーのミニオン大脱走」
「もっと！トムとジェリーショー」
「トイ・ストーリー1～3」
「ファンタスティックビースト 魔法使いの旅」



皆さんの利用、お待ちしています！

(公財)とやま国際センター賛助会員募集及び 寄付のお願い

公益財団法人とやま国際センターは、民間レベルの国際交流、国際協力を推進するため、様々な事業に取り組んでいます。TICの事業にご支援いただける賛助会員を募集しています。

年会費 (1口) 個人会員 3,000円
団体会員 30,000円

また、財政基盤の充実を図るために、ご寄付についてもよろしくお願い申し上げます。ご協力頂ける方は、是非センターまでご連絡ください。